

子どもを虐待から守るための 5か条

1. 「おかしい」と感じたら迷わず連絡
【通告は義務】 (通告)
2. 「しつけのつもり…」は言い訳
【子どもの立場で判断】
3. ひとりで抱え込まない
【あなたにできることから即実行】
4. 親の立場より子どもの立場
【子どもの命が最優先】
5. 虐待はあなたの周りでも起こりうる
【特別なことではない】

「あなた」の実行が子どもを守ります。

虐待は子どもに対する重大な権利侵害です。子どもを虐待から守るためには親の立場より何よりも「子どもの立場が最優先」されなければなりません。そして、それができるのは「あなた」と「関係機関」の連携です。

あなたのまわりに「気にかかる親子」がいたら、すぐに最寄の市町や児童相談所に連絡してください。連絡した人が特定されないように秘密は守られます。

「あなた」の実行が、
子どもを虐待から守ります。



(厚生労働省リーフレットより)

虐待が疑われたり、虐待に気づいたら、
お住まいの市町か、
下記の通告先にご連絡下さい。

児童相談所全国共通ダイヤル

0570-064-000

(お住まいの地域の児童相談所に電話をおつなぎします。)

※一部地域では使えないことがあります。

※PHSや一部のIP電話からはつながりません。

県内児童相談所一覧

北勢児童相談所 Tel.059-347-2030
夜間・緊急 Tel.059-347-2052
(桑名市、いなべ市、四日市市、鈴鹿市、
亀山市、桑名郡、員弁郡、三重郡)

中勢児童相談所 Tel.059-231-5666
夜間・緊急 Tel.059-231-5901
(津市、松阪市、多気郡)

南勢志摩児童相談所 Tel.0596-27-5143
夜間・緊急 Tel.059-231-5901
(伊勢市、鳥羽市、志摩市、度会郡)

伊賀児童相談所 Tel.0595-24-8060
夜間・緊急 Tel.059-231-5901
(伊賀市、名張市)

紀州児童相談所 Tel.0597-23-3435
夜間・緊急 Tel.059-231-5901
(尾鷲市、熊野市、北牟婁郡、南牟婁郡)

STOP!! 子ども虐待

「虐待かな？」
と思ったら迷わず通告を！



オレンジリボンは子ども虐待防止のシンボルマークです。

11月は子ども虐待防止啓発月間
(三重県子どもを虐待から守る条例第23条)

三重県

子ども虐待とは？

(保護者によって18歳未満の子どもへ加えられる行為で、下記のように分類されますが、重複することが多くあります。)

✓ 身体的虐待

- ・ 殴る、蹴るなどの暴力
- ・ 乳幼児を激しく揺さぶる
- ・ ヤケドを負わせる
- ・ 冬に戸外に締め出す

など

✓ 性的虐待

- ・ 性的行為の強要、性的暴行
- ・ 性交やポルノグラフィーを見せる
- ・ ポルノグラフィーの被写体にする

など

✓ ネグレクト (養育の放棄・怠慢)

- ・ 病気でも病院に連れて行かない
- ・ 食事を与えない、衣服、住居などが極端に不衛生
- ・ 家に残して外出したり、車内に放置する
- ・ 保護者以外の同居人による暴力を放置する

など

✓ 心理的虐待

- ・ 無視や、脅迫など子どもの心を傷つける言動をする
- ・ 他の兄弟との差別的な扱いをする
- ・ 子どもの目の前で配偶者等への暴力等を行う

など

虐待をされた子どもへの影響は？

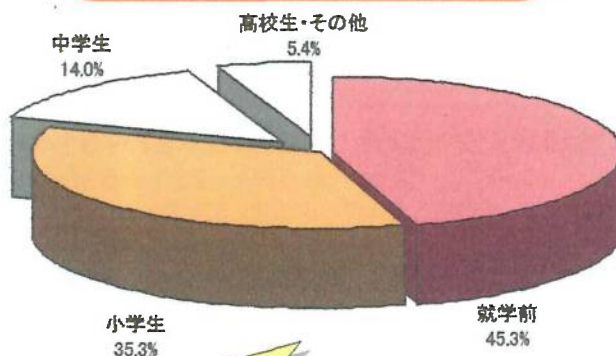
子ども虐待とは、子どもが耐えがたい苦痛や、なすすべのない無力感を味わうことだと言えます。虐待を受けた子どもには、非常に低い自己評価が特徴的に表れます。それは、親や養育者から「お前は何をしてもだめなのだ」「いない子どもだ」というメッセージを有形無形に受け、自分を大切に思えず、心に受けた傷に一生苦しむこともあります。



(児童虐待防止ネットワークリーフレットより)

被虐待児の内訳

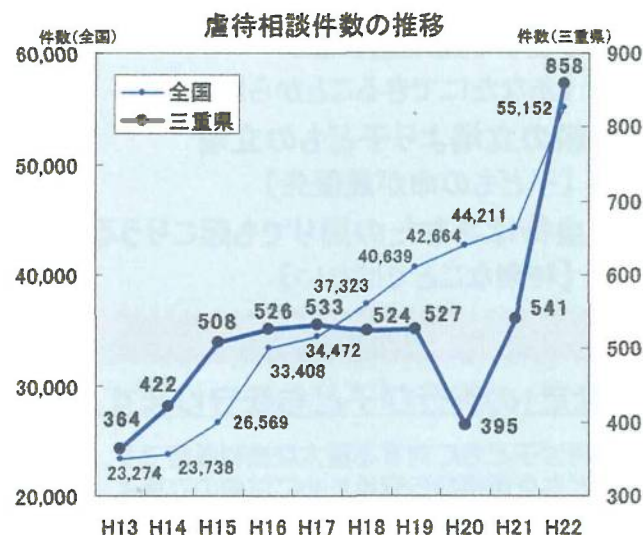
平成22年度三重県内の児童相談所に寄せられた858件の相談内訳



小学生以下が全体の80%以上を占めています。

～虐待の早期発見のために～

全国の児童相談所に寄せられる子ども虐待に関する相談対応件数は、毎年度増加を続け、平成22年度は過去最多の55,152件となりました。また、三重県においても、平成22年度には過去最多の858件となっています。



子ども虐待の早期発見には、子どもの出す『SOSのサイン』に気づくことが大切です。以下のような特徴がみられることがあります。

- ・ 不自然な外傷、アザ、打撲、ヤケドなどが見られる
- ・ 年齢に比べてやせていたり、低身長、低体重である
- ・ 髪の毛、顔、手足などが極端に不潔、臭いがする
- ・ 季節に合わない衣服や不潔な衣服を着ている
- ・ 態度がおどおどしている、親の顔色をうかがったり、親と顔をあわせずうつむいたりする